



平成20年11月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 **オオゼキ**
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 石 原 坂 寿 美 江
(コード番号 7617・東証第二部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 管 理 本 部 長 柵 山 健 哉
(TEL 03-6407-2511)

(訂正)「平成19年2月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)の一部訂正に関するお知らせ」
の一部訂正について

平成20年11月20日発表の「平成19年2月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)の一部訂正に関するお知らせ」
について、集計ミスによる一部誤りがありましたので下記のとおり訂正させていただきます。
なお、訂正箇所につきましては、訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には(下線)を付して表示しております。

記

1. 訂正を行う第3四半期財務・業績の概況(非連結)の概要
決算期：平成19年2月期第3四半期(平成18年3月1日～平成18年11月30日)
公表日：平成20年11月20日

以 上

(4) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年2月期第3四半期	27,312	20,376	74.6	1,693 73
平成18年2月期第3四半期	23,783	17,689	74.4	1,496 76
(参考) 平成18年2月期	24,999	18,451	<u>73.9</u>	1,552 64

(注) 1.発行済株式数

平成19年2月期第3四半期末 12,030,380株 平成18年2月期第3四半期末 11,818,780株

平成18年2月期末 11,883,780株

2.自己株式数

平成19年2月期第3四半期末 620,620株 平成18年2月期第3四半期末 832,220株

平成18年2月期末 767,220株

(3) キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年2月期第3四半期	3,039	△966	△326	8,306
平成18年2月期第3四半期	1,622	△1,772	△319	5,494
(参考) 平成18年2月期	3,017	△2,109	△311	6,559

【財政状態の変動状況に関する定性的情報等】

① 財政状態の変動状況

当第3四半期会計期間末における総資産は273億12百万円となり、前事業年度末比23億12百万円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益が19億68百万円となり、現金及び預金が2億29百万円増加したことによるものであります。なお、純資産は203億76百万円となり、自己資本比率は74.6%と前事業年度末より19億24百万円の増加となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物の残高は83億06百万円となり、前事業年度末と比較して17億46百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は30億39百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益33億38百万円、仕入債務の増加3億10百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額16億81百万円、前払費用の増加額66百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は9億66百万円の支出となりました。主な要因は、有価証券の取得による支出4億99百万円、新規出店にともなう有形固定資産の取得による支出4億19百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は3億26百万円の支出となりました。主なプラス要因は、ストックオプション行使による自己株式売却による収入2億53百万円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払による支出2億96百万円、長期借入金の返済による支出2億83百万円によるものであります。

(訂正後)

(4) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年2月期第3四半期	27,312	20,376	74.6	1,693 73
平成18年2月期第3四半期	23,783	17,689	74.4	1,496 76
(参考) 平成18年2月期	24,999	18,451	<u>73.8</u>	1,552 64

(注) 1.発行済株式数

平成19年2月期第3四半期末 12,030,380株 平成18年2月期第3四半期末 11,818,780株
平成18年2月期末 11,883,780株

2.自己株式数

平成19年2月期第3四半期末 620,620株 平成18年2月期第3四半期末 832,220株
平成18年2月期末 767,220株

(3) キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年2月期第3四半期	3,039	△966	△326	8,306
平成18年2月期第3四半期	1,622	△1,772	△319	5,494
(参考) 平成18年2月期	3,017	△2,109	△311	6,559

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

① 財政状態の変動状況

当第3四半期会計期間末における総資産は273億12百万円となり、前事業年度末比23億12百万円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益が19億68百万円となり、現金及び預金が2億29百万円増加したことによるものであります。なお、純資産は203億76百万円となり、自己資本比率は74.6%と前事業年度末より19億24百万円の増加となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物の残高は83億06百万円となり、前事業年度末と比較して17億46百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は30億39百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益33億38百万円、仕入債務の増加3億10百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額16億81百万円、前払費用の増加額66百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は9億66百万円の支出となりました。主な要因は、有価証券の取得による支出4億99百万円、新規出店にともなう有形固定資産の取得による支出4億19百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は3億26百万円の支出となりました。主なプラス要因は、ストックオプション行使による自己株式売却による収入2億53百万円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払による支出2億96百万円、長期借入金の返済による支出2億83百万円によるものであります。